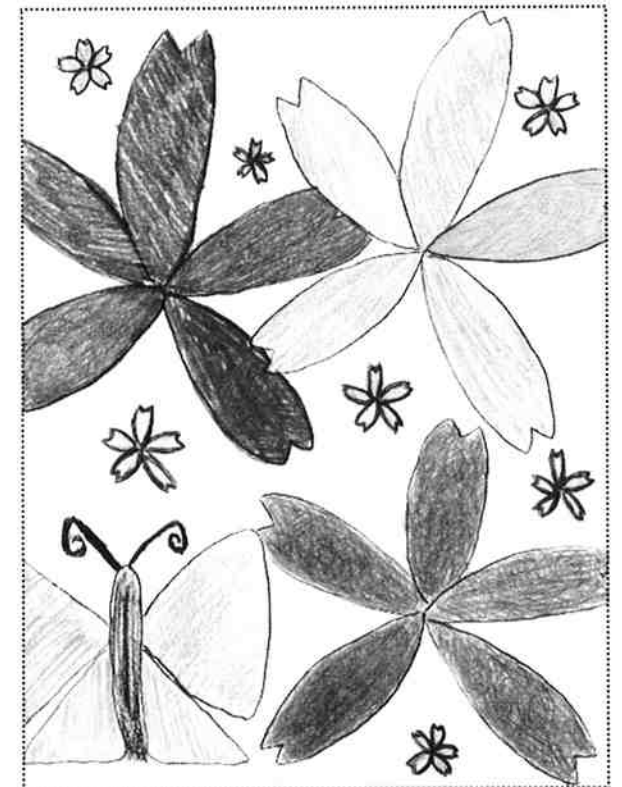


ふれあい雪谷

平成24年 4月 さくら号 通巻第86号



上池上 貝塚中学校1年 佐藤 沙紀さんの作品

母校の思い出 45



私が小池小学校に入学したのは、戦後の昭和21年でした。小池小学校は、国民尋常小学校と書いてある校門を残し、焼けてしまっていました。私達は1年生から赤松小学校の体育館？講堂だったのか、良くわかりませんが間借り生活でした。ベニヤ板でいくつかに仕切った所が、教室がわりです。休み時間も校庭で遊ぶのも隅の方で、遠慮しながら遊んでいた記憶があります。

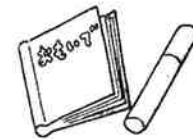
それから小池小学校が建ちましたが、お教室が足りないで、二部授業、時には三部授業の事もあったと昔母から聞いた憶えがあります。その時は午前の部と午後の部とあり1カ月位で交代していたようでした。私は午後の部の時は近所のお屋敷に入り込んで遊んでいたりで、母は学校に遅れない様を探すのが大変だったと母に心配をかけていました。

そして全部のお教室は出来ましたが、講堂とか体育館、プールもありませんでした。

私達第16回卒業生の卒業式は、6年生の教室4クラスの境の仕切り（アコーデオンの様に開閉出来るもの）そのアコーデオンの扉を開け放し、ぶち抜き教室が講堂と化し、卒業生と父兄はその中で式を挙行しました。5年生は廊下にならんで卒業生を送ってくれました。

あれから60年が経ち今は昔の面影は全く残っておりませんが、同窓会に出ると懐かしい顔に逢える楽しみがあります。

（池の台・岸川信子）



「ふれあい雪谷」平成24年新年号の記事「みんなで語ろう！『昔』と『今』のわが地域 ゆきがや」において、下線の箇所に誤りがございましたので、訂正致します。

「荏原病院前のバス通り付近一帯は海拔20メートルも有り、大田区のなかでは一番の海拔である。」

※大田区内の海拔は田園調布付近が最高で42.5メートル有ることを、地盤高図にて確認致しました。

編集後記

新年明けてNHKの大河ドラマ「平 清盛」が始まりました。この題字を書いた金澤翔子さん（ダウン症の天才書家）が大田区在住と聞いて驚きました。また4月2日から始まった、やはりNHKの朝の連続ドラマ「梅ちゃん先生」は昭和の蒲田が舞台になっており、区ではこの機会を観光振興・まちおこしの契機と捉え様々な取り組みをして行くそうです。楽しみです。

（東雪・西本頼雄）

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日) 年4回発行
[1月・新年号/4月・さくら号/7月・あさがお号/10月・もみじ号/の1日発行]
[発行日] 平成24年(2012年)さくら号 4月1日(通巻・第86号) 発行
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集] 「ふれあい雪谷」編集委員会
[連絡先] 雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

私の健康法 45

犬と散歩

若い頃、年配者の話に苦笑していた私も、年齢を迎えると足腰が急に弱くなった事に気付きます。以前中型犬を飼っていた時は洗足池の廻りを何周もしましたが、現在は小型犬なので遠くまで行きません。しかし朝と夕二回は寒い日も暑い日も散歩は欠かさなく、近頃は私以外とは誰とも行かなくなりました。坂を下りて洗足流れを往復し又上がって来る位ですがそれでも一日一万歩は歩いています。これが私の健康法と云えるかどうか……一人ではなか、出掛



けません。犬のお陰かと思っ
ています。
歩きながら出会う犬達との会
話も心がいやされます。
洗足流れに植えられた桜も二
十年を経過し大木となり、春に
は花を夏には木陰を道行く人々
に与えてくれます。又桜の木が
途だえると鯉が沢山泳いでいて
その美しさや成長を見るのも楽
しいものです。
皆さんも自分なりに
"ゆっくり"と洗足流
れを散歩して見ませんか。
か。途中で出会える
ることを楽しみに。
（東中・直井稔枝）

サークル紹介 52

子どもたち(そしておやじたち)の笑顔のために

小池おやじの会は、小池小学校に通う子ども（もしくは卒業生）の父親を中心に構成された会で、現在約60名のメンバーで活動しています。

年間最大のイベントは、毎年10月後半に行う「おやじと秋祭り」。昨年で11回目を迎えました。子どもたちは毎年楽しみにしてくれており、来場者数は数百名に上ります。小学校の校庭と体育館を一日借りきって、飲食や昔遊び、ゲームなどの露店を出します。最近の目玉は一昨年から始めた「何でもコンテスト」。“かくし芸大会”のノリで、ダンス、音楽、スポーツ、手品など、出し物は何でもOKです。優秀な個人やチームには賞品も用意。今年はぜひ地元の皆さまにも参加してほしいですね。

その他、子どもや大人向けの講演会やフットサル大会など、独自の行事を企画しています。また、大田区ガーデンパーティーへの出店、小学校の夏休み講座や農園の土おこし、上池台児童館のお祭りなどもお手伝いさせてもらっています。

どこかで私たちの活動を見かけたらぜひ声をかけてください。また、関心ある方は一緒に活動してみませんか。

（小池おやじの会（<http://www.koike-oyaji.com/>）

会長 平井豊康）

きっと忘れない！スポーツで学んだマナー

ポーン、ポーンというリズムカルな音の中から「よろしくお願いします」「ありがとうございました」と何度となく大声が響き渡る館内、ここは大田区立小池小学校の体育館。小1から小6までの20数人がコーチの打つボールに必死にくらいつき、元気な声が飛び交っていました。

6年前に設立された認定NPO法人マナーキッズプロジェクトマナーキッズテニス教室から指導者として私を含め数人が小池小学校に派遣されミニテニスの実技とマナーを教えています。

このNPO法人は、文科省や日本テニス協会、企業等の後援、協賛を得て活動しており、子ども達にテニスを楽しんでもらい、スポーツマンシップの体得と挨拶、礼儀作法の基本的マナーの習得を目指し、全国の児童にテニスの実技とマナーの大切さを伝えています。

これまでに全国で約200校の幼稚園・小学校において体育・道徳関連の授業に採用されましたが大田区ではまだ実現していません。小池小学校ではテニス好きで熱心な父兄たちが、マナーキッズテニス教室の趣旨に賛同をいただき要請をうけてコーチに行っています。

一般的には90分の授業で、詳細は紙面の関係で割愛しますが、最初にマナーについて、室町時代から、日本古来の礼儀作法を守り伝え続ける小笠原流礼法の総師範から正しいお辞儀、挨拶の仕方などの話を聞きます。

要約しますと

1. マナーとは約束、ルールを守ることから始まる
2. 自分がされて嫌なことは人にはしない
3. 人の話は正しい姿勢で相手の顔をみて聞く
4. 挨拶は心と心を結びリボンである
5. お辞儀は頭（こうべ）を垂れてはいけません、丹田に力を入れ腰を軽く曲げれば頭は自然と下がります

などなどの話があります。

その後、テニスの実技があり、児童はコーチと打ち合う度に「よろしくお願いします」「ありがとうございました」と言って、お辞儀をし、挨拶を何度も何度も繰り返します。

最初のうちは、慣れていないのか、照れもあるのか、なよなよとしていた子も終わる頃には正しい姿勢で声も大きく挨拶、お辞儀が出来る様になります。

また、年に1回、文部科学大臣杯マナーキッズテニス全国小学生団体戦が開催されます。大会では、優秀な成績のチームを表彰し、更に、試合結果、マナー、感想文、面接等厳しい選考基準をパスした児童5～6人がマナー大使に選ばれ海外に派遣され、現地の子ども達とテニスを通して交流してもらいます。

また、この大会にはマナー大賞もあります。

昨年度の全国大会では小池小学校は見事にマナー大賞を受賞しました。私達コーチ陣は父兄共々大喜びでした。

今後も、あちこちの小学校に出向いて指導し、また大田区内の小学校の授業にも採用されるよう働きかけ、小池小学校の更なる技術の向上とマナーの浸透に少しでもお役に立ちたいと思っています。児童たちは、スポーツで学んだマナーは決して忘れることなく、これからの人生にプラスになると確信しています。

(南雪谷・宗 正雄)



美しい環境づくり 38

呑川の氾濫

南雪谷と東雪谷の境を流れる「呑川」は、長男が私のお腹に入っていた、昭和48年に二度の氾濫を起こしました。

そのうちの一度は、義父と主人を送り出した午前8時ごろ、雨が降り出してから30分足らずの内に、あっという間に床上浸水しました。仕事の材料を一番に避難させたので、畳や生活用品の多くが駄目になりました。

その後呑川は、護岸工事が行われ、中原街道から多摩川までの放水路が作られたので、今では増水しても氾濫することはなくなりました。又東京都の清流復活事業により新宿の落合水再生センターで高度処理された再生水が送水管で送られ、大岡山の工大橋の処から呑川に放流されています。

生まれ変わった今の呑川には、数えきれないほどのカモが泳いでいたり、ヒヨドリやセキレイなどいろいろな鳥の姿が見られます。又どこから来たのかカメなどが誰にも邪魔されることなくのんびり日向ぼっこ（甲羅干し）をしていることもあります。

石川台生まれの主人や姉、妹達は、子どもの頃、自転車に乗ったり、かけっこをしているときに、何度も川に落ちたことを自慢げに話していましたが、今では兩岸にフェンスができ、落ちる心配もなくなりました。ゴミもあまりなく、川の流れも綺麗になり、大雨が降っても安全で安心して暮らせる立派な呑川となりました。

これからも地域の皆さんと協力し合って、昔の面影を思いつつ、もっともっと綺麗な呑川にしたいと考えています。

(石川台・手塚眞利子)

ねが よき文化の発祥の地域と希って

昨年6月、地域のバレエ教室の発表会のお招きをうけた。バレエは20年来なじんでいなかった。一瞬躊躇、音楽会は年16回位出向いている。当時チャイコフスキーのバレエ曲・協奏曲、交響曲等聞いていたので思い切って発表会に行かせていただいた。3才からの幼・少女達100人がチャイコフスキーの曲に乗ってしっかりステップを踏んだ晴れやかな舞台だった。先生と少女達の努力、又推進した母の会、見事だった。寒々しい社会の中に春風のような心地よい感動でした。我が自治会館にも長年情熱をかたむけて教えて下さっている先生達のおかげで学習に笑顔で集ってくる沢山の子供達共々に、感性を磨き人間性を培ってと、私も成長をかげながら願っている。このような状況から、よき文化のお手伝いが出来たらとずーっと希（ねが）っていた。

昨年、希望ヶ丘自治会館を警察の交番に見立てての撮影に使用させていただきたいと、計5回、希望ヶ丘自治会館に依頼があり、希望ヶ丘自治会館の事務をしている私が、製作者の方々に応対した。最初は、昨年8月若き女性監督の依頼で映画撮影（今秋上映予定、題名「夢売るふたり」）があり、その後テレビ制作者から4回（連続ドラマ「私が恋愛できない理由」、「ハングリー！」他）。『よい作品を創って』と私の合言葉ですが、近隣のご迷惑を思うと、はらはらの撮影でした。

本年1月、テレビ制作者の配慮で『よい思い出に』と雪ヶ谷八幡神社でのカラオケ大会の場面のエキストラとして、地域の22人が参加した。今後も安穩でよき文化の発祥の地域と希（ねが）うものです。

(希望ヶ丘・嶋田昭子)

りー随筆

元旦 初日の出ウォーク

元旦に初日の出を見て歩くと云うことを、この数年やっています。年を取った親に淋しい思いはさせたくないと、色々考えて忙しく過していた正月も、親が亡くなって、独りになってみれば、することがありません。そこで元旦のウォーキングを思いついたと云うわけです。1月1日というのは幹線道路の車も少ないから歩きやすいのではないかと思ったのです。

最初の年は洗足池を出発地として、金沢八景の友人宅までの35キロ。江戸末期、黒船が来た時、江戸を早朝に発って、夕方には浦賀に到着したというのだから、金沢八景なら歩ける距離だろうと思ったのです。どうにか歩きおおせたもののこの距離には草臥（くたひ）れたので、次の年には距離を短縮してレインボーブリッジから洗足池まで11キロ。レインボーブリッジで素晴らしい初日の出を見ました。ブリッジの登り口から出口まで4キロもある橋の長さを計算するのを忘れて8キロ位の距離だからと友人を誘ったものですから、この距離は8キロよりずっと長いと、友人にうらまれました。次の年は洗足池から多摩川の土手を歩いて、羽田の海（大鳥居）まで約15キロ。次が横浜のランドマークタワーまで20キロ強。そして今年は、お台場公園→レインボーブリッジ→愛宕山→日比谷公園→皇居一周で15キロ。今年は雲が厚くて初日の出は見られず、愛宕山で、やっと太陽が顔を出しました。最初の年は、たった1人で歩いたのですが、この頃は歩く仲間も出来て、数人で歩いています。来年と一緒に歩きませんか。

(笹丸・森信節子)



盆梅がじつと根をはり人を待つ
春めいて鯉の背の色よみがえり
春立つや耳のかたちに白い雲

(南 薩舟)

一葉忌いま再びの貧困化
寒鯉の忘れた頃に動きあり
歩を金に先手取りたる春浅し

(一ノ瀬歌子)

俳句

(まき)

